

講座名	国際関係で学ぶグローバル・メディア・スタディーズ 入門編				
主担当 講師	しばさき あつし		駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ (GMS) 学部 教授		
	芝崎 厚士				
概要	21世紀の最初の20年を経てCOVID-19パンデミック下にある現在、「国際関係」について考えることは、80億人近くのすべてのひとびとが織りなす「グローバルな世界」を考えることを意味します。その際に、われわれは好むと好まざるとにかかわらず、何らかの「メディア」に依拠しています。本講座では、「メディアを通してこの世界を考える」ための入門として、①ある出来事の報道、②①に直接・間接に関連するメディア作品を検討し、③古代から現代まで、一見無関係に見えて実は深く関連する人々の考えと①②を「対決」させるという「三題噺」的な流れで、この世界について受講生のみなさんとともに深く考えていくことをめざしています。				
回数	全 5 回	受講料	5,000 円	配信 期間	10月
講座 レベル	入門	定員	200 名	講座 形式	オンデマンド形式
第1回	タイトル	マイケル・ムーアvsソクラテス			
	担当講師	芝崎 厚士 ( 駒澤大学 GMS学部 教授 )			
	内容	映画監督マイケル・ムーアは、21世紀にメディアが政治や社会に果たす役割を大きく変えた人物の一人です。関連するメディア報道と彼の作品をソクラテス (プラトン) の視点から読み解く、導入編です。			
	配信期間	10月 1日 (金) ~ 10月 14日 (木)			
第2回	タイトル	FORTUNE500vs丸山眞男			
	担当講師	芝崎 厚士 ( 駒澤大学 GMS学部 教授 )			
	内容	戦後民主主義を代表する丸山眞男は、実はグローバルなメディアについても示唆に富む議論を展開していました。グローバル企業の諸問題を丸山から読み解くと、その問題の古さと新しさがつかめることでしょう。			
	配信期間	10月 8日 (金) ~ 10月 21日 (木)			
第3回	タイトル	ショック・ドクトリンvs渡辺一夫			
	担当講師	芝崎 厚士 ( 駒澤大学 GMS学部 教授 )			
	内容	大江健三郎の師として知られる仏文学者の渡辺一夫と、ショック・ドクトリンを用いる「惨事便乗型資本主義」を批判したナオミ・クラインとを結び付けることで、現代世界の根底にある難題に迫ります。			
	配信期間	10月 15日 (金) ~ 10月 28日 (木)			
第4回	タイトル	フェイス・ニュース&ポスト・トルースvs上岡龍太郎&大森荘蔵			
	担当講師	芝崎 厚士 ( 駒澤大学 GMS学部 教授 )			
	内容	今回はいわばダブルスorタッグマッチです。一見無関係なこの二人の視点を統合すると、2010年代を象徴するこの2つの言葉の背景にある事の本質を冷静に見抜く上で有効であることを示します。			
	配信期間	10月 22日 (金) ~ 11月 4日 (木)			
第5回	タイトル	エンロンvs内村鑑三			
	担当講師	芝崎 厚士 ( 駒澤大学 GMS学部 教授 )			
	内容	その後も繰り返されるグローバル市場経済の暴走の先駆的な事例であったエンロンの破綻。これを内村鑑三から、そして1~4回までの知見も動員しながら掘り下げつつ、講座全体の到達点を総括します。			
	配信期間	10月 29日 (金) ~ 11月 11日 (木)			
参考文献	各回ごとに、扱うテキストや資料、およびウェブ上のリンク先をお知らせします。				
受講にあたっての留意点	特別な予備知識は一切不要です。また、事前の準備も不要です。それぞれの回に用意されている、テキストやリンク先のさまざまなメディアを受講前・受講後に読んだり、視聴したりしていただくことは内容の理解の助けになりますが、必須ではありませんので、リラックスして受講していただければ幸いです。				